

# 公民館月報

K O M I N K A N G E P P O



## 特集 「第60回新潟県公民館大会」参加報告

- 4.5
- 2 トピックス 第50回関東甲信越静公民館研究大会（山梨大会）開催
- 3 視点 「ヒトが人になっていくのが見える親子リズムの会」
- 3 ひろば 「還暦を前に」
- 6 実践記録シリーズ 横越地区子どもセンター事業「キッズボランティアDAY 地下道清掃 ビフォー・アフター編」
- 7 サークル交流 「なかまと一緒に歌える幸せ！」（長岡市） / 「子どもたちと一緒に」（南魚沼市）
- 7 素顔拝見 高橋 悟さん（南魚沼市） / 神主忠雄さん（田上町）



みつけ演劇セミナー第11回公演

### 風と夕カラと千年婆さん

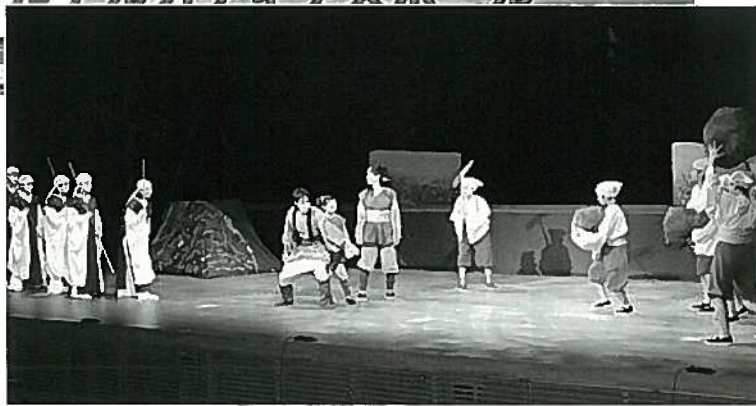
～杉と出会う物語～

平成21年5月10日（日）

見附市文化ホールアルカディア大ホール

「みつけ演劇セミナー公演会」  
見附市

表紙解説 今回で11回目をむかえたみつけ演劇セミナー。  
子ども達は生き生きとした演技を披露しました。





# 第50回関東甲信越静 公民館研究大会 (山梨大会) 開催

テーマ『公民館活動の新たな発展を目指して』  
『人づくり・地域づくりのための公民館の役割』

第50回関東甲信静公民館研究大会は、8月27日(木)～28日(金) 山梨県公連主管の下、富士山の町 河口湖ステラシアターを主会場に、参加総数約九〇〇名が参加し、開催された。

初日は全体会で、ステージ真中後方に雄大な富士山が聳



記念講演

え立つ会場で、開会式及び表彰式が行われたが、本県からは、優良職員表彰一名、永年勤続職員表彰一名の方が表彰された。(詳細は、下記のとおり)

休憩後の記念講演は、「私の出会った挑戦者たち」と題して NHKの国井雅比古エグゼクティブアナウンサーが約80分間にわたり感動的な事例を交えて話された。

再度休憩の後、大会テーマについてその設定理由等の基調提案が、山梨県立大学堀井啓幸教授から約50分にわたり具体的ななされ、分科会へのつながりについても触れられた。



本県担当第11分科会

翌日の分科会は13分科会が設定され、7会場に分かれて研究協議が展開された。本県担当分科会は、第11分科会「健康、福祉学習と公民館」で、新潟県立生涯学習推進センター風間昌平学習振興課長の司会進行の下、阿賀野市中央公民館見原健司館長がビデオを交えて具体的な事例発表(主な内容は当公民館月報8月号特集欄で既報)を行

## 平成21年度全国公民館

○優良職員表彰受賞者

佐藤 俊 夫様  
(加茂市公民館長)

○永年勤続職員表彰受賞者

長谷川 長 雄様  
(新潟市曾野木地区公民館長)



BOOKS INFORMATION

増補改訂版好評発売中

# よくわかる公民館のしごと

(社) 全国公民館連合会 2,100円

申込先 〒951-8053 新潟市中央区川端町2-9 県林業会館内 県公民館連合会事務局 TEL・FAX025-224-6073

# 視点

## 「ヒトが人になっていくの が見える親子リズムの会」

新潟市豊栄地区公民館利用会員 松井 良枝



定年退職後、親子リズムサークルのお手伝いを頼まれ、毎週公民館通いをしてい  
る。ヨチヨチ歩きやハイハイの赤ちゃん達と音楽に合わせ  
カメ、トンボ、金魚やドングリなどになって動き回る。そ  
の後、手遊び、絵本読みをし、最後はダンボールや新聞、タ  
オルなどを使ってのごっこ遊  
びをする。発達を刺激する一  
連のプログラムになっている。中にはただ走り回る子、泣  
いてばかりの子、部屋をど  
び出す子もいるが、大人達は  
規制せずあったかく見守つて  
いる。

毎週通うたびに子ども達の表情が豊かになり、カタゴト語から会話もできるまでに成長する様子がとてもよくわかる。ある日突然、勝手ばかりやっていた子がまるで前から知っていたかのようにリズム体操を始めたりもする。まさにヒトが人間になっていくドラマを見ているようだ。

受容的な大人集団があつて、三歳位までの赤ちゃんが集まるとお互い真似しあつて成長が早い。保育園に行つてない子とお母さんみんなに、そんな居場所があるとい  
いと思う。

# HOT NEWS

## 掲 示 板

### 中越地区公民館職員研修会 開催案内

- 1 趣旨 (省略)
- 2 主題 社会構造の変化や住民意識の多様化に対応する公民館事業をどう進めればよいか  
～住民の声を公民館事業に生かすグループワークの手法を学ぶⅡ～
- 3 主催 中越地区公民館連絡協議会
- 4 共催 新潟県公民館連合会
- 5 主管 中越地区公民館連絡協議会主事部会  
柏崎公民館・出雲崎町公民館・刈羽村公民館
- 6 期日 平成21年10月9日(金)
- 7 会場 刈羽村生涯学習センターラビカ  
〒945-0307 刈羽郡刈羽村大字刈羽100  
TEL 0257-20-3100 FAX 0257-20-3103
- 8 日程
 

|      |       |                   |            |       |            |        |       |       |
|------|-------|-------------------|------------|-------|------------|--------|-------|-------|
| 9:30 | 10:00 | 10:30             | 11:00      | 12:00 | 13:00      | 15:00  | 16:00 | 16:10 |
| 受付   | 開会    | オリエンテーション<br>理論講義 | グループワーク(1) | 昼食    | グループワーク(2) | グループ発表 | 閉会    |       |
- 9 研修内容
 

—本研修会は、公民館職員のための実務研修です—

  - (1)オリエンテーション 指導者講師による理論指導
  - (2)グループワーク1、2 指導者講師による実践指導
  - (3)グループ発表
- 10 指導者紹介
 

指導者 宇都宮大学生涯学習教育研究センター  
佐々木 英和 准教授 様
- 11 問合せ ラビカ※7の会場施設まで

# ひろば

## 「還暦を前に」

阿賀野市公民館運営審議会委員 大嶋 かほみ

近年中高年の登山が盛んである。歩くことは球技のように人数もいらず、一人でも行える人気のスポーツである。

都会の喧噪を逃がれ、清々しい空気の中、流れる汗をぬぐい、乾きを潤おす水にありがたさを感じる。苦しい、きついとネをあげ

そんな時、サーと吹き過ぎる風にホッと救われる。右、左と踏み出す一歩に徳川家康の有名な人生訓を思い出し、山行を続ける人が多いのだからと思う。

私はそんな一人である。若い頃はカニ族といわれた黄色の横幅のリュックを背負い、今はスリムな縦型のリュックで時々山行する。山は動かず、そこにあつて迎えてくれるから嬉し



い。しかし登山者が増えた反面、事故遭難も増えている。原因はいろいろ諸事情によると思うが防止策は一つ、ゆとりある山行と思う。このゆとりという言葉、車の運転、子育て、日々の生活にも使われる。時間的余裕だけでなく内面的な余裕も意味する。

還暦を目前にし、残りの人生、ゆとりある心で過ごしてゆきたいと思う。



# 「館大会」参加報告

庭、学校、社会が一体となった人間（じんかん）教育の必要性を訴えた。その上で公民館の「集う」という機能に着目し、そこにこそ人間教育の格好の場である公民館の出番があるとも述べた。

最後に会場からの質問を受けて学社融合について触れ、これを進めるためには学校教育と社会教育の二つを結ぶ中間組織を別に立ち上げ、そこが中心となって活動を進めていくのが理想的な形ではないかとの持論を示された。

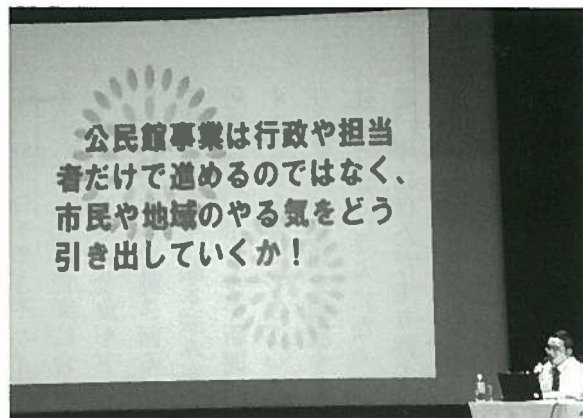
## 2. 事例発表

最初に、「妙高市における地域活動と市民活動の推進策について」と題して発表があった。合併に伴い、平成18年に地域コミュニティ活動や公民館活動を一体的に地域づくり活動ととらえ、「妙高市地域づくり協議会」が発足した。各地域の実情を反映した活動が特徴で、協議会は各団体の支援を図り研修会、講習会を開催している。

活動支援交付金については、団体支援金のほか特にやる気のある団体には元気づくり活動補助金制度を設けている。この制度は、小さな成功体験事業（単年度）と地域やる気事業（3ヵ年）で構成され、公開審査会を通して公開プレゼンテーションを実施し、その結果により助成を行うというものである。また、平成18年度より中間支援組織として市民活動支援センターを開設し、各団体への積極的な支援をおこなっている。この支援センターの特徴は首長部局ではなく教育委員会部局に設置され、地域コミュニティ活動を推進していく上で公民館的な役割を果たしていることである。今後は、センターを核として各種団体と連携し地域の課題に応じて支援を行っていくことや、厳しい財政事情のなか、お金による支援から人材育成等の人的な中間支援機能がさらに必要との報告がなされた。

次に、佐渡市金井地区公民館の「わくわくドキドキウィークエンド活動」についての発表があった。平成4年に旧金井町は「生涯学習の町」を宣言し、さまざまな学習の場を住民に提供してきた。平成11年に所謂17歳問題がクローズアップされ、その議論が発端となって地域全体で子どもたちを育成しようという機運が高まり、平成13年子どもたちの豊かな心とたくましく生き抜く力を育み、異年齢集団活動を通じて健全な人間関係を構築することを目的として、「わくわくドキドキウィークエンド」事業が開催されることとなった。多くの住民の協力により事業はようやく軌道に乗り、さまざまな成果も報告されている。

現在、合併による職員の減少、予算の削減などに



より各教室ともに厳しい運営を強いられているが、教室によっては自主的な活動も芽生えてきており、そうした自立した運営こそ活動の本来の姿であるとの認識で事業を推進していることなどが報告された。

最後に、新潟市中央公民館による「生涯学習ボランティアバンク」についての発表があった。このボランティアバンクは、平成19年「生涯学習に関する豊かな知識や経験、優れた技能等を有する人材やグループの有効活用を図り、市民の学習活動の成果を地域社会に還元する循環型生涯学習社会をつくる」ことを目的として発足し、現在に至っている。市の生涯学習センターが事務を行い、活動ボランティアは個人、団体での登録制で、個人の場合は、生涯学習センターや公民館主催のボランティア養成講座を修了したもの（2年に1度更新）に限る。平成20年度末で個人47名、団体37グループが登録している。今後の課題としては、ボランティアの活動の場をいかに提供し続けられるか、また職員のコーディネート力をいかに高めていくか、あるいは登録者が旧市内にばかり集中していることからこれをどう是正していくかといったことがあげられる。

事例発表後、坂本氏よりそれぞれの発表についてのコメントがあった。また、それに関連し民意反映機関としての公運審の役割を重視すること、あるいは全ての制限を取り払ったバリアフリーの学習集団を立ち上げること、さらに住民の危機管理に公民館が積極的に関わりそのネットワークを構築すること、そしてこれからは学ぶことを介してのネットワーク作りが重要であるといった提言がなされた。

全体を通して60回の節目に相応しい大変有意義な大会であった。最後にご苦労頂いた大会関係者の皆様に心から感謝を申し上げ、参加報告とさせて頂く次第である。

# 特集

## 「第60回新潟県公民館」



新潟県公民館月報編集委員長  
松縄 廣道 (津南町公民館長)

公民館月報編集委員として去る7月17日、燕市文化公民館において開催された第60回新潟県公民館大会を取材した。今年には60回という節目の年に当たることもあって関係者、とりわけ担当地域の燕市、加茂市、田上町、弥彦村の公民館の皆さんの意気込みは大変なものがあり、そのかいあってか当日は500人を越える参加者が集まった。

### 1. 基調講演

開会式後の基調講演では、「社会教育法の改正と公民館」という演題で、常盤大学コミュニケーション振興学部教授坂本登先生からご講演を頂いた。自己紹介の後、冒頭、坂本氏はいまの社会教育と生涯学習の関係についての混乱に触れ、生涯学習という言葉に対して疑問を呈した。さらにこのままでは、もしかしたら21世紀は公民館をいかに思わすかという世紀になるかもしれない、といった厳しい現状認識を示された。

### (1) 後藤新平、正力松太郎、寺中作雄に学ぶ

公民館という名称が初めて使われたのは昭和16年、岩手県水沢市に建てられた後藤新平記念公民館が最初である。後藤新平は「金を残して死ぬものは下、仕事を残して死ぬものは中、人を残して死ぬものこそ上である」として、生前青少年教育に力を注いだ人であった。この建物は、その遺志を継ぎ、当時読売新聞社の社長であった正力松太郎の寄付によって青少年の育成のために建てられたものである。この日本でも最初に建てられた公民館が青少年教育を目的としたものであった、ということは実に注目する。続いて語はいわゆる寺中構想のことに及んだ。社会教育法の生み親である寺中作雄が構想した公民館とは、集う・学ぶ・遊ぶという機能をもった社会教育機関であり、さらには社交娯楽、町村自治振興、産業振興、成年教育といった様々な機能を兼ね備えた施設であった。そのため社会教育関係の職員だけではこの構想を実現することは難しく、当時はいろいろな分野の職員の協力を得て現場に出向き、情報を収集しながらネットワークを張ることが重要な仕事であった、と坂本氏は自らの経験を語られた。その中でネットワークを構築するには、ネットワークが大切であり、今の人はもつと現場に出ていか

なければ住民のニーズや地域課題はつかめないのではない、といった厳しい指摘もなされた。

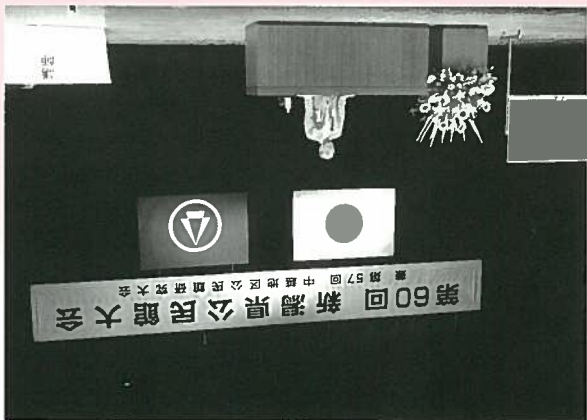
### (2) 社会教育法の改正と公民館

次に、改正された社会教育法とともにこの法律案に対する付帯決議を中心としてこの度の改正点についての説明があった。今回の改正でまず重要なのは、社会教育では常に学習者が主体であるという確認がなされたことである。そのことは、付帯決議に「国民の自発的、主体的な学習が担保されるよう配慮すること」と記されていることから明らかである。

また、指定管理者制度については、「導入による弊害にも十分配慮し、適切な管理運営体制を目指すこと」と付帯決議にある通り、現段階ではまだ多くの問題を含んでいるとの指摘があった。さらに公民館には、地域によって規模や活動状況にかなり格差があり、これを一緒に議論することには無理があると、今後は公の施設としての公民館と教育機関としての公民館を峻別していく必要があるとの見解が示された。

続いて「私」と「公」を一体的にとらえるという観点から、公民館の目的にもある個人的側面と社会的側面を一体的にとらえることで社会貢献、社会参加に繋げていくことが重要であると、公民館の事業はそのための手段であるとの説明がなされた。

さらに、坂本氏によれば今回の改正で一番注目されるのは、社会教育が学校教育にシフトしてきた点であるという。その根拠は、社会教育法第5条、13項にいままで学校教育法にしか使われていなかった学齢児童、学齢生徒という言葉が使われていることによる。ここで坂本氏は、いくつかの青少年関連のデータを示して、すでに家庭教育や学校教育の限界が明らかになってきていることを指摘、連携を通して家



# 実践記録

## 138

### シリーズ

## 横越地区子どもセンター事業 「キッズボランティアDAY 地下道清掃 ビフォー・アフター編」

新潟市横越地区公民館主事 大谷 雄治



### ●はじめに



「横越地区子どもセンター」は、平成14年度から実施開始となった完全週学校5日制への対応として、当時の横越町教育委員会により平成13年度に開設されました。(現在は、横越地区

公民館内に設置) 学校・家庭・地域、そして公民館等の青少年教育施設が連携し、自然体験や社会体験、異年齢集団による活動や交流など多様な体験活動の機会を充実させ、「生きる力」を育成することを目的とし、地区内外の体験活動ボランティア活動の情報提供、体験機会の拡充・広域交流、ボランティア人材登録・紹介・研修を行っています。

### ●キッズボランティアDAY 地下道清掃 ビフォー・アフター編

#### 1. 開催場所

新潟市江南区横越中央地内  
主要地方道新潟港・横越線に附帯する横断地下道4箇所

#### 2. 目的

- ・小・中学生のボランティア意識の向上を目的とする。
- ・公共の場を自ら清掃し、景観や安全を守ることが大変なことだと認識することで、地域環境を汚さない意識を醸成する。
- ・異年齢とのふれあい体験による人格形成の一助とする。

#### 3. 募集

横越小学校・横越中学校に参加募集チラシを配布し募集を行いました。

また、今年度からは横越小学校PTA補導部との共催とし、子ども達のみならず保護者への参加呼びかけも行いました。

#### 4. 構成人員

参加者：小学生24名、中学生33名、保護者12名  
スタッフ：小中学校職員8名、  
道路管理者(江南区役所建設課)2名  
公民館6名 計85名

#### 5. 活動内容

地下道内は毎年清掃活動を行っていますが、1年も経つと砂ぼこりやクモの巣でいっぱいになります。活動ではクモの巣の撤去はもちろん、隣接する植栽帯の散水栓の水を使用し、デッキブラシなどを使い隅々まで綺麗にします。高い所にある蛍光灯は、



地域の人や先生、中学生男子が脚立を使って綺麗にしてくれました。

#### 6. 参加者の感想

##### 子どもたちの感想

- ・「終わったあとの達成感がすごかった」
- ・「やりがいがあって楽しかった」
- ・「今後も続けて欲しい」

などのうれしい感想を聞くことができました。また、施設に対する改善要望等もあり、公共施設の安全面・防犯面への意識が高まりました。

##### 大人の方の感想

- ・「小・中学生が一生懸命やってくれて助かった」
- ・「中学生のボランティアがたくさんいることに驚いた」

など子どもたちの一生懸命さに感動する声が多数聞かれました。

#### 7. 事業の成果

子どもたちのボランティア精神の向上を図ることができ、率先して作業を行う子ども達の姿を見て、大人達にも意識の変化があったように思われます。年齢や職種等に関係なく参加者全員で協力し、交流しあいながら作業を行うことができました。

また、横越地区にあるいろいろ組織に声をかけながら、年々カタチを変えながら活動に取り組んできました。今年度は、横越小学校PTA補導部、道路管理者(江南区建設課)に新たに活動に加わって頂き、学・社・民が融合し活動を行うことができました。

#### 8. 今後の課題

参加者が多いこともあり、掃除用具不足の指摘、仕事の振り分けを細分化し、効率のよい清掃方法の検討が必要とアンケートに記載がありました。

また、子どもの参加人数に比べ、大人の参加者が少ないように思えます。

こうした活動は、継続することが大切です。来年度はこれらの課題を検討しながら事業を行い、より地域に密着した活動となるよう努力していきたいと考えます。

before



after



え子の一人で、若き頃の神主先生の秘密を知っている(?)のたさうです。館長代理から高校時代のアルバムを見せて頂いていたことがありますが、お二人とも、今と変わっていると、は頭髮の量だけ(?)です。

公民館事業でも、バスケット以上のフリースローを見させてくれます。益々のご活躍を期待します。

(田上町公民館主事 小柳 加奈子 記)



社会教育指導員 神主 忠雄さん  
田上町公民館

田上町公民館からは、神主社会教育指導員を紹介致します。神主指導員は、佐渡市のご出身であり、会話中に「～だつちや」の方言を聞くことができます。また、以前は加茂暁星高校の体育教員をされておられました。ですから、指導力なら抜群なのであります。バスケット部顧問で、教え子達も田上町近隣にたくさんいます。なんと実は、渡辺公民館長代理も、数多くの教

素顔 拝見



南魚沼市中央公民館 主任 高橋 悟さん

中央公民館に配属となって2年目を迎えた、生涯学習係のエース高橋悟さんを紹介致します。担当は、勤労青少年ホーム・青年教育・分館事業、その他オールマイティにこなす優れたものです。

若げに見えますが、口もたつが手も早く(行動力あり)、同僚への細かいツッコミも抜かりなく、程よい緊張感を与えてくれます。

朝野球にいそむスपोर्टス

でもあり、晩酌を欠かさぬいいオヤジとなりましたが、勤労青少年ホームでは、利用者の兄貴的な存在として盛り上げ、地区スポーツ交流会では総合優勝も果たしました。

利用者への心配りを忘れず、現状把握による適切な対応を常とし、生涯学習係の「顔」となっています。是非立ち寄ってご覧ください。(笑)

(南魚沼市中央公民館主任 種村利治 記)



丸山 紀子 南魚沼市

今年10月15日に「少年」を上演しました。

「少年」を上演したきっかけは、お母さんがお友達から「少年」を上演してほしいと誘われてからです。お母さんがお友達から「少年」を上演してほしいと誘われてからです。



「少年」を上演したきっかけは、お母さんがお友達から「少年」を上演してほしいと誘われてからです。お母さんがお友達から「少年」を上演してほしいと誘われてからです。

「円談」のついでに

「円談」のついでに、お母さんがお友達から「少年」を上演してほしいと誘われてからです。お母さんがお友達から「少年」を上演してほしいと誘われてからです。



「円談」のついでに、お母さんがお友達から「少年」を上演してほしいと誘われてからです。お母さんがお友達から「少年」を上演してほしいと誘われてからです。



丸山 紀子 南魚沼市

今年10月15日に「少年」を上演しました。

「少年」を上演したきっかけは、お母さんがお友達から「少年」を上演してほしいと誘われてからです。お母さんがお友達から「少年」を上演してほしいと誘われてからです。

「円談」のついでに、お母さんがお友達から「少年」を上演してほしいと誘われてからです。お母さんがお友達から「少年」を上演してほしいと誘われてからです。

「円談」のついでに

# event information

## 平成21年度 下越地区公民館関係役員等研修会案内

研修テーマ

地域づくりにおける公民館の役割 ～いま、求められているもの～

- 趣旨 (省略)
- 主催 下越地区公民館連絡協議会
- 共催 新潟県教育委員会、新潟県公民館連合会
- 主管 村上市・岩船郡公民館連合会(村上市・関川村・粟島浦村の各公民館)
- 日時 平成21年10月9日(金) 午前10時 開会
- 会場 村上市荒川地区公民館  
〒959-3134 村上市羽ヶ榎104-45 TEL0254-62-3050
- 対象者 公民館役員、公民館運営審議会委員、社会教育・生涯学習関係者
- 日程  
9:30 10:00 10:30 12:00 13:00 14:15 14:30 15:30 16:00 16:30

|    |     |     |    |     |    |    |     |    |       |
|----|-----|-----|----|-----|----|----|-----|----|-------|
| 受付 | 開会式 | 講演会 | 昼食 | 分散会 | 移動 | 発表 | 閉会式 | 移動 | 情報交換会 |
|----|-----|-----|----|-----|----|----|-----|----|-------|

- 基調講演 演題 地域づくりにおける公民館の役割  
～いま、求められているもの～  
講師 大東文化大学教育学部教育学科非常勤講師  
日本公民館学会理事、埼玉社会教育研究会副会長  
片野 親義様

- 分散会及び発表・助言  
○ 今回は分散会とし、講演の内容に関する事項で、あらかじめ設定してある複数の項目について全員で話し合い、その内容を発表し、最後に講師から助言をいただく。

- 分散会での話し合いの内容
  - ・講演の感想
  - ・主催事業のあり方を考える。
  - ・地域につながる公民館事業とは。

- 研修会参加費及び情報交換会費 (1人当り)
  - ① 下越地区公民館関係役員等研修会資料代 1,200円
  - ② 昼食代(弁当、お茶付) 800円
  - ③ 情報交換会会場 坂町駅前 いづみや旅館 電話 0254-62-2018
  - ④ 情報交換会会費 5,000円

- 参加申込・問合せ  
村上市中央公民館 〒958-0292 村上市岩沢5668番地  
村上市総合文化会館内 村上市中央公民館  
TEL 0254-72-6700 FAX 0254-72-6700  
Eメール kominkan@city.murakami.lg.jp

### 恵贈資料紹介

#### 平成20年度公民館に関する基礎資料

#### 国立教育政策研究所 社会教育実践研究センター

約三百頁にわたる部厚い基礎資料が、社会教育実践センターより届きました。

内容は、I公民館関係法令及び施行通達等、II公民館の設置・運営に関する通知・通達、III公民館に対する委託費等、IV公民館の設置・運営に関する答申・建議等、V民間団体が行った公民館に関する提言等、そして、VI基礎データか



ら構成されており、とくに基礎データの項は、

- 1 公民館数及び設置率の推移
- 2 公民館職員数の推移
- 3

利用状況 4 設置者別公民館数(都道府県別) 5 市(区)町村立公民館の設置状況 6 公民館職員数(都道府県別) 7 公民館の利用状況 8 公民館における諸集会の実施状況(都道府県別) 9 公民館における学級講座の実施状況(都道府県別) 10 公民館運営審議会等の設置館数が記載されており、現場に参考になる資料です。

## 農業・農村が日々の生活を支えています

農業・農村は、安全・安心な食料を安定的に供給するとともに、国土や自然環境の保全、良好な景観の形成、文化の伝承などの多面的な機能を有しています。本県農業・農村振興の取り組みに対する県民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

新潟県市町村農業農村振興対策協議会  
会長(津南町長) 小林 三喜男

新潟市中央区新光町4-1 新潟県自治会館内  
TEL 025(285)0041 FAX 025(285)1609

### あ と が き

今夏は不順な天候のまま、初秋入りのようになりま

秋は研修のシーズンになります。予算の関係が全

国公民館研修大会の参加数が少なく苦勞しております。今からでも遅くありません。まだ間に合いますので、お待ちしております。

(鈴木 記)